

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2019年10月17日(17.10.2019)



(10) 国際公開番号

WO 2019/198214 A1

(51) 国際特許分類:

A41C 3/10 (2006.01)

(21) 国際出願番号:

PCT/JP2018/015446

(22) 国際出願日:

2018年4月12日(12.04.2018)

(25) 国際出願の言語:

日本語

(26) 国際公開の言語:

日本語

(71) 出願人: 株式会社ワコール(WACOAL CORP.)

[JP/JP]; 〒6018530 京都府京都市南区吉祥院中島町29番地 Kyoto (JP).

(72) 発明者: 杉原 喜久美 (SUGIHARA Kikumi);

〒6018530 京都府京都市南区吉祥院中島町29番地 株式会社ワコール内 Kyoto (JP).

石山 麻子 (ISHIYAMA Asako); 〒6018530 京都府京都市南区吉祥院中島町29番地 株式会社ワコール内 Kyoto (JP).

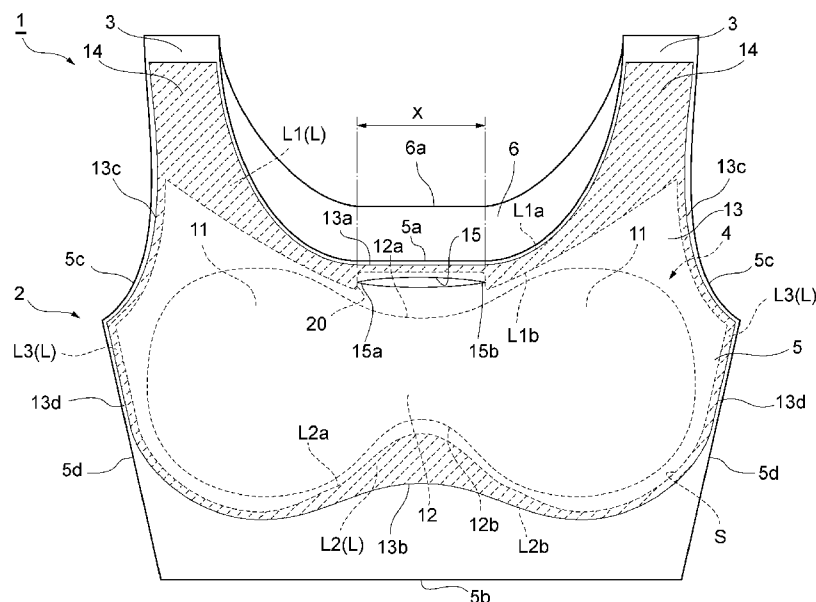
(74) 代理人: 長谷川 芳樹, 外 (HASEGAWA Yoshiki et al.); 〒1000005 東京都千代田区丸の内二丁目1番1号丸の内 M Y P L A Z A (明治安田生命ビル) 9階 創英国際特許法律事務所 Tokyo (JP).

(81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JO, JP, KE, KG, KH,

(54) Title: UPPER-BODY GARMENT

(54) 発明の名称: 上半身衣類

[図4]



(57) Abstract: An upper-body garment (1) comprises: a body part (2) which has a bust section (5) configured to cover the chest of the wearer; an integrally molded cup body (4) in which a left and right pair of cups (11, 11) are joined by a front-and-center linking section (12); and an accommodation pocket (S) that removably accommodates the cup body (4) in the bust section (5). An opening (15) is provided on the rear side of a front-and-center portion of the accommodation pocket (S), the opening extending in the joining direction of the left and right pair of cups (11, 11).

KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY,
MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ,
NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT,
QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL,
SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA,
UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.

- (84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類：

- 一 国際調査報告 (条約第21条(3))

(57) 要約：上半身衣類（１）は、着用者の胸周りを覆うように構成されたバスト部（５）を有する本体部（２）と、左右一対のカップ（１１，１１）が前中心側の連結部（１２）によって連結された一体成型のカップ体（４）と、バスト部（５）においてカップ体（４）を着脱自在に収容する収容ポケット（Ｓ）と、を備え、収容ポケット（Ｓ）における前中心部分の裏側には、左右一対のカップ（１１，１１）の連結方向に延びる開口部（１５）が設けられている。

明 細 書

発明の名称： 上半身衣類

技術分野

[0001] 本発明は、上半身衣類に関する。

背景技術

[0002] 従来、ハーフトップ等の上半身衣類では、バストの整形や着用者の乳頭が透けてしまうことの防止などを目的として、カップを着脱自在に配置できるものがある。カップ及びカップが配置される収容ポケットの形状は多様である。例えばバスト部の両脇にそれぞれ設けた収容ポケットに左右のカップをそれぞれ配置するタイプのものや、特許文献１に記載のブラジャーのように、上方に開口する収容ポケットに左右一体のカップ体を配置するタイプのものが存在している。

先行技術文献

特許文献

[0003] 特許文献１：実開昭６３－８５６０６号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0004] しかしながら、例えば特許文献１に記載のブラジャーでは、収容ポケットに対するカップ体の着脱容易性は確保できるものの、着用時のカップ体の位置が安定し難く、種々の動作の際にカップ体がバストからずれてしまうことが考えられる。このため、バストシルエットを整えるためには、着用後にカップ体の位置を手直しする必要がある、着用の際の煩わしさが生じる問題があった。

[0005] 本発明は、上記課題の解決のためになされたものであり、着脱自在のカップ体を着用者のバストに対して安定して密着させることができる上半身衣類を提供することを目的とする。

課題を解決するための手段

[0006] 本発明の一側面に係る上半身衣類は、着用者の胸周りを覆うように構成されたバスト部を有する本体部と、左右一対のカップが前中心側の連結部によって連結された一体成型のカップ体と、バスト部においてカップ体を着脱自在に收容する收容ポケットと、を備え、收容ポケットにおける前中心部分の裏側には、左右一対のカップの連結方向に延びる開口部が設けられている。

[0007] この上半身衣類では、左右一対のカップが前中心側の連結部によって連結された一体成型のカップ体が用いられている。カップ体が收容される收容ポケットには、前中心部分において左右一対のカップの連結方向に延びる開口部が設けられている。この開口部により、收容ポケットに対するカップ体の着脱が容易となる。また、上方に開口する收容ポケットを採用する場合とは異なり、收容ポケットに收容されたカップ体の位置ずれや回転を防ぐことが可能となる。したがって、着用後にカップ体の位置を手直しの必要もなく、着脱自在のカップ体を着用者のバストに対して安定して密着させることができる。開口部の延在方向と左右一対のカップの連結方向とが揃うことで、開口部からのカップ体のはみ出しを抑制できる。したがって、カップ体が肌に当たることを抑制でき、着用時の肌当たりを良好に保つことができる。

[0008] 開口部は、カップ体の連結部の縁部と重ならない位置に設けられていてもよい。この場合、カップ体の連結部の縁部が肌に当たることを防止できる。したがって、連結部の縁部による段差が肌に当たらなくなることで、着用時の肌当たりを一層良好に保つことができる。

[0009] 開口部の連結方向の長さは、カップ体の連結部の上下幅よりも大きく、かつカップの上下幅よりも小さくなっていてもよい。これにより、收容ポケットに対するカップ体の着脱容易性と、收容ポケット内でのカップ体の安定性とを好適に両立できる。

[0010] 開口部は、前中心部分においてカップ体の連結部の上縁部よりも上方に位置していてもよい。この場合、開口部とカップ体とが重ならなくなるため、開口部からのカップ体のはみ出しをより確実に抑制できる。したがって、カップ体が肌に当たることを更に抑制でき、着用時の肌当たりを一層良好に保

つことができる。

[0011] 開口部は、前中心部分においてカップ体の連結部の下縁部よりも下方に位置していてもよい。この場合、開口部とカップ体とが重ならなくなるため、開口部からのカップ体のはみ出しをより確実に抑制できる。したがって、カップ体が肌に当たることを更に抑制でき、着用時の肌当たりを一層良好に保つことができる。また、着用状態のままでも収容ポケットからカップ体を容易に脱抜することが可能となる。

[0012] 収容ポケットは、バスト部において本体部の裏側に裏当部を結合することによって形成されており、本体部と裏当部との結合領域には、接着部が点在していてもよい。この場合、収容ポケットを十分な強度で形成することができる。

[0013] 本体部と裏当部との結合領域の縁には、前中心部分において凹部が設けられており、開口部は、凹部の位置に設けられていてもよい。こうすると、開口部を囲うように本体部と裏当部との結合領域を近接配置することが可能となる。開口部は、カップ体の着脱の際などに力がかかり易い部分である。したがって、開口部に結合領域を近接配置することで、開口部の耐久性を高めることができる。

[0014] 接着部のうち、開口部における連結方向の端部に最も近接している接着部は、開口部の延在方向に交差する方向に延在した形状を有していてもよい。これにより、開口部における連結方向の端部付近での本体部と裏当部との結合強度が十分に高められる。開口部における連結方向の端部は、カップ体の着脱の際などに最も力がかかり易い部分である。したがって、開口部における連結方向の端部付近の結合強度を高めることで、開口部の耐久性を一層高めることができる。

[0015] 開口部は、前中心部分においてカップ体の連結部と重なるように位置していてもよい。この場合、着用状態のままでも収容ポケットからカップ体を容易に脱抜することが可能となる。

発明の効果

[0016] この上半身衣類によれば、着脱自在のカップ体を着用者のバストに対して安定して密着させることができる。

図面の簡単な説明

[0017] [図1]第1実施形態に係る上半身衣類を示す正面図である。

[図2]図1に示した上半身衣類の背面図である。

[図3]上半身衣類に適用されるカップ体の一例を示す正面図である。

[図4]図1に示した上半身衣類を裏返して示す正面図である。

[図5]図4における要部拡大図である。

[図6]第2実施形態に係る上半身衣類を裏返して示す正面図である。

[図7]第3実施形態に係る上半身衣類を裏返して示す正面図である。

[図8]開口部の形状の変形例を示す図である。

発明を実施するための形態

[0018] 以下、図面を参照しながら、本発明の一側面に係る上半身衣類の好適な実施形態について詳細に説明する。なお、以下の説明では、便宜上、上半身衣類の着用状態を想定して「上」「下」等の用語を使用する。

[第1実施形態]

[0019] 図1は、第1実施形態に係る上半身衣類を示す正面図である。また、図2は、その背面図である。図1及び図2に示す上半身衣類1は、例えばハーフトップとして構成されている。ハーフトップは、タンクトップと比較して丈が短く、着用者の腹部及び腰部が露出するようになっている。上半身衣類1は、着用者のバスト周りの胴部を覆うように構成された本体部2と、左右一対の肩ストラップ部3と、着用者のバストを覆うカップ体4とを備えている。

[0020] 本体部2は、例えば端始末不要の伸縮性を有する生地によって形成されている。このような生地としては、例えばベアスムースなどが挙げられる。本体部2の正面側は、着用者のバストを覆うバスト部5となっている（図1参照）。また、本体部2の背面側は、着用者の背部の上側を覆う背部上部6となっている（図2参照）。バスト部5と背部上部6とは、本体部2の両脇で

連続し、着用者の胸周りを包囲するように筒状をなしている。

[0021] バスト部5の上縁部5a及び背部上部6の上縁部6aは、上半身衣類1の首割りに相当し、いずれも下方に向かって緩やかな凹状をなしている。バスト部5の下縁部5b及び背部上部6の下縁部6bは、上半身衣類1の裾に相当し、横方向に延びる直線状となっている。バスト部5の左右の脇側上部5c、5c及び背部上部6の左右の脇側上部6c、6cは、上半身衣類1の袖割りに相当し、いずれも中心側に向かって緩やかな凹状をなしている。バスト部5の左右の脇側下部5d、5d及び背部上部6の左右の脇側下部6d、6dは、上半身衣類1の脇裾に相当し、下方に向かって本体部2の身幅が小さくなるように垂下する直線状をなしている。

[0022] 肩ストラップ部3は、バスト部5の上縁部5aと背部上部6の上縁部6aとを繋ぐように帯状に設けられている。本実施形態では、肩ストラップ部3は、例えば本体部2と同じ端始末不要の伸縮性を有する生地によって、本体部2と一体に形成されている。肩ストラップ部3は、着用時に着用者の両肩にそれぞれ正面から背面にかけて掛け渡され、上半身衣類1の装着をサポートする。

[0023] カップ体4は、バストの整形や着用者の乳頭が透けてしまうことの防止などを目的としてバスト部5に配置されている。カップ体4は、図3に示すように、左右一対のカップ11、11と、カップ11、11を前中心側で連結する連結部12とを有している。本実施形態では、カップ11、11及び連結部12は、例えばウレタンなどの弾性材料を用いたモールド成型による一体成型品となっている。カップ11は、パッドと称してもよい。

[0024] カップ11は、全体として着用者のバスト形状に対応する碗形状をなしており、正面視においては円に近い形状を有している。連結部12は、左右のカップ11、11に対して上下に括れた形状をなしている。すなわち、連結部12の上縁部12aは下方に向かって湾曲し、連結部12の下縁部12bは、上方に向かって湾曲している。カップ体4が着用者のバストのバージスラインに沿い易くなるように、下縁部12bの湾曲度は、上縁部12aの湾

曲度よりも大きくなっている。なお、下縁部 1 2 b の湾曲度は、上縁部 1 2 a の湾曲度と同等であってもよく、上縁部 1 2 a の湾曲度よりも小さくなっているてもよい。

[0025] 続いて、上述したバスト部 5 の構成について更に詳細に説明する。

[0026] 図 4 は、図 1 に示した上半身衣類を裏返して示す正面図である。同図に示すように、上半身衣類 1 では、バスト部 5 の裏側（肌側）に裏当部 1 3 が結合されている。この裏当部 1 3 の結合により、バスト部 5 の裏側には、カップ体 4 を収容する収容ポケット S が形成されている。収容ポケット S の形成にあたり、裏当部 1 3 との結合後にバスト部 5 及び裏当部 1 3 への熱成型加工が施されてもよい。これにより、バスト部 5 において生地 of 立体感を造形でき、着用者のバスト形状及びカップ体 4 の膨らみに対応した収容ポケット S を構成できる。この場合、バスト部 5 及び裏当部 1 3 の伸縮性、伸長回復性などの素材特性により、バスト部 5 及び裏当部 1 3 のそれぞれに熱成型加工を施すか否かを選定することが好ましい。これにより、バスト部 5 の着圧が適切に調整され、バストの安定感が高められる。

[0027] 裏当部 1 3 は、例えば本体部 2 と同じ端始末不要の伸縮性を有する生地によって形成されている。裏当部 1 3 の上縁部 1 3 a は、バスト部 5 の上縁部 5 a の湾曲形状に沿うように、下方に向かって緩やかな凹状をなしている。裏当部 1 3 の上縁部 1 3 a の両脇部分には、肩ストラップ部 3 の本体部 2 側の端部と同程度の幅で上方に張り出す張出部 1 4 がそれぞれ設けられている。張出部 1 4 は、肩ストラップ部 3 の端部に重ね合され、肩ストラップ部 3 の伸びが過剰になることを抑制する。裏当部 1 3 の下縁部 1 3 b は、カップ体 4 の下縁部分の形状に対応した湾曲形状をなしている。

[0028] 裏当部 1 3 の下縁部 1 3 b の中央部分は、連結部 1 2 の下縁部 1 2 b の湾曲形状に応じて上方に向かって湾曲している。この裏当部 1 3 の下縁部 1 3 b の中央部分の湾曲度は、連結部 1 2 の下縁部 1 2 b の湾曲度よりも小さく、例えば連結部 1 2 の上縁部 1 2 a の湾曲度と同程度となっている。なお、裏当部 1 3 の下縁部 1 3 b は、直線状であってもよい。裏当部 1 3 の左右の

脇側上部 13c, 13c は、バスト部 5 の左右の脇側上部 5c, 5c の湾曲形状に沿った湾曲形状をなしている。また、裏当部 13 の左右の脇側下部 13d, 13d は、バスト部 5 の脇側下部 5d, 5d の上側に沿った略直線状をなしている。

[0029] 裏当部 13 の前中心部分には、カップ体 4 におけるカップ 11、11 の連結方向（すなわち、上半身衣類 1 を正面から見た場合の左右方向）に延びる開口部 15 が形成されている。開口部 15 は、収容ポケット S に対してカップ体 4 を着脱するための部分である。開口部 15 は、例えば裏当部 13 に直線状の切り込みを入れることによりスリット状に形成されている。裏当部 13 に伸縮性を有する生地を用いている場合には、直線状の切り込みを入れることで、上下端が尖った略楕円形状の開口部 15 が形成される。

[0030] 開口部 15 は、収容ポケット S 内に配置されたカップ体 4 における連結部 12 の縁部と重ならない位置に設けられている。本実施形態では、開口部 15 は、前中心部分においてカップ体 4 の連結部 12 の上縁部 12a よりも上方に位置している。したがって、開口部 15 からは収容ポケット S 内のカップ体 4 自体が露出せず、バスト部 5 の裏側の生地のみが開口部 15 を通して視認し得る状態となっている。なお、開口部 15 の位置は、カップ体 4 における左右のカップ 11, 11 の最上点の位置と同じであってもよく、最上点の位置よりも下方であってもよい。

[0031] 図 4 に示す例では、開口部 15 の連結方向の中心が前中心と一致し、開口部 15 は前中心について左右対称となっている。しかしながら、開口部 15 の左右位置はこれに限られるものではなく、連結部 12 の縁部と重ならない程度であれば、前中心について左右のいずれかにずれていてもよい。

[0032] 開口部 15 の左右方向の長さ X は、図 3 及び図 4 に示すように、カップ体 4 の連結部 12 の上下幅（最小幅）Y よりも大きくなっている。また、開口部 15 の左右方向の長さ X は、カップ 11 の上下幅 Z よりも小さくなっている。連結部 12 の上下幅 Y 及びカップ 11 の上下幅 Z は、例えばカップ体 4 を平面に載置したときの平面視における幅を基準とすればよい。

[0033] カップ体4を収容ポケットSに収容する場合、例えばカップ体4を上下に折り畳み、折り畳んだ状態のカップ体4の両端部を左右に順次開口部15に通してカップ体4を収容ポケットS内に挿入すればよい。また、カップ体4を収容ポケットSから取り外す場合、例えば開口部15越しにカップ体4の連結部12を把持し、開口部15からカップ体4を引き抜くようにすればよい。

[0034] また、裏当部13は、図4に示すように、結合領域Lにおいてバスト部5の裏側に結合されている。本実施形態では、結合領域Lは、裏当部13の上部を結合する第1の結合領域L1と、裏当部13の下部を結合する第2の結合領域L2と、裏当部13の左右の脇部を結合する第3の結合領域L3とを有している。

[0035] 第1の結合領域L1は、裏当部13の張出部14を肩ストラップ部3に結合すると共に、裏当部13の上縁部13aをバスト部5の上縁部5aに結合している。第1の結合領域L1の上縁部L1aは、バスト部5の上縁部5aに沿って延在している。第1の結合領域L1の下縁部L1bは、全体として下方に向かって緩やかに湾曲し、裏当部13の左右の脇側上部13c、13cの略中間部分同士を結ぶように延在している。この第1の結合領域L1の下縁部L1bには、前中心部分において凹部20が設けられている。凹部20の横幅は、開口部15の左右方向の長さXと一致しているか、若しくは開口部15の左右方向の長さXよりも僅かに（例えば2mm以下の範囲で）長くなっている。

[0036] 第2の結合領域L2は、裏当部13の下縁部13bをバスト部5の下縁部5bの上方位置に結合している。第2の結合領域L2の上縁部L2aは、第1の結合領域L1よりも大きい湾曲度で全体として上方に向かって湾曲し、裏当部13の下縁部13bの左右の最下点同士を結ぶように延在している。第2の結合領域L2の下縁部L2bは、裏当部13の下縁部13bの湾曲形状に沿い、裏当部13の左右の脇側下部13d、13dの下端同士を結ぶように延在している。

- [0037] 第3の結合領域L3は、裏当部13の脇側上部13cをバスト部5の脇側上部5cに結合し、裏当部13の脇側下部13dをバスト部5の脇側下部5dに結合している。第3の結合領域L3は、裏当部13の脇側上部13cの縁及び脇側下部13dの縁に沿って幅細の帯状に延在している。
- [0038] 上述した開口部15は、バスト部5を裏側から見た場合に、第1の結合領域L1の下縁部L1bにおいて前中心部分に設けられた凹部20の位置に配置されている。凹部20の位置に配置された開口部15の左右方向の一端部15aは、凹部20を画成している第1の結合領域L1の下縁部L1bと接するか、若しくは僅かに離間した状態となっている。同様に、凹部20の位置に配置された開口部15の左右方向の他端部15bは、凹部20を画成している第1の結合領域L1の下縁部L1bと接するか、若しくは僅かに離間した状態となっている。凹部20の深さ方向（上下方向）に対する開口部15の上下方向の位置には特に制限はないが、凹部20の深さ方向の中心位置に開口部15の上下方向の中心位置が一致していてもよい。
- [0039] 結合領域Lには、複数の接着部Pが設けられている。複数の接着部Pは、接着材の硬化物である。接着部Pは、例えば図5に示すように、正面視において円形状をなしており、結合領域L内で千鳥状或いは格子状に点在している。接着部Pを形成する接着剤としては、例えば乾燥硬化型、湿気硬化型、或いは反応硬化型の接着剤を用いることができる。
- [0040] 接着部Pのうち、第1の結合領域L1の凹部20に位置する接着部Pの少なくとも一つは、開口部15の延在方向に交差する方向に延在した形状となっている。本実施形態では、凹部20に位置する接着部Pのうち、開口部15の左右方向の一端部15aに最も近接している接着部Paが、開口部15の上下方向に直交する方向を長軸とする長円状若しくは略楕円形状となっている。また、凹部20に位置する接着部Pのうち、開口部15の左右方向の他端部15bに最も近接している接着部Pbが、開口部15の上下方向に直交する方向を長軸とする長円状若しくは略楕円形状となっている。
- [0041] 以上説明したように、上半身衣類1では、左右一対のカップ11、11が

前中心側の連結部 1 2 によって連結された一体成型のカップ体 4 が用いられている。カップ体 4 が收容される收容ポケット S には、前中心部分において左右一対のカップ 1 1, 1 1 の連結方向に延びる開口部 1 5 が設けられている。この開口部 1 5 により、收容ポケット S に対するカップ体 4 の着脱が容易となる。また、上方に開口する收容ポケット S を採用する場合とは異なり、收容ポケット S に收容されたカップ体 4 の位置ずれや回転を防ぐことが可能となる。したがって、着用後にカップ体 4 の位置を手直しの必要もなく、着脱自在のカップ体 4 を着用者のバストに対して安定して密着させることができる。また、上半身衣類 1 では、開口部 1 5 の延在方向と左右一対のカップ 1 1, 1 1 の連結方向とが揃うことで、開口部 1 5 からのカップ体 4 のはみ出しを抑制できる。したがって、カップ体 4 が肌に当たることを抑制でき、着用時の肌当たりを良好に保つことができる。

[0042] また、上半身衣類 1 では、開口部 1 5 がカップ体 4 の連結部 1 2 の縁部と重ならない位置に設けられている。すなわち、收容ポケット S 内のカップ体 4 における連結部 1 2 の上縁部 1 2 a が開口部 1 5 から露出しない状態となっている。これにより、カップ体 4 の連結部 1 2 の上縁部 1 2 a が肌に当たることを防止できる。連結部 1 2 の上縁部 1 2 a による段差が肌に当たらなくなることで、着用時の肌当たりを一層良好に保つことができる。

[0043] また、上半身衣類 1 では、開口部 1 5 の連結方向の長さ X は、カップ体 4 の連結部 1 2 の上下幅 Y よりも大きく、かつカップ 1 1 の上下幅 Z よりも小さくなっている。これにより、收容ポケット S に対するカップ体 4 の着脱容易性と、收容ポケット S 内でのカップ体 4 の安定性とを好適に両立できる。

[0044] また、上半身衣類 1 では、開口部 1 5 が前中心部分においてカップ体 4 の連結部 1 2 の上縁部 1 2 a よりも上方に位置していてもよい。これにより、開口部 1 5 とカップ体 4 とが重ならなくなるため、開口部 1 5 からのカップ体 4 のはみ出しをより確実に抑制できる。したがって、カップ体 4 が肌に当たることを更に抑制でき、着用時の肌当たりを一層良好に保つことができる。

[0045] また、上半身衣類 1 では、収容ポケット S がバスト部 5 において本体部 2 の裏側に裏当部 1 3 を結合することによって形成されており、本体部 2 と裏当部 1 3 との結合領域 L には、接着部 P が点在している。このような構成により、収容ポケット S を十分な強度で形成することができる。

[0046] また、上半身衣類 1 では、本体部 2 と裏当部 1 3 とを結合する第 1 の結合領域 L 1 の下縁部 L 1 b において、前中心部分に凹部 2 0 が設けられており、開口部 1 5 が凹部 2 0 の位置に設けられている。こうすると、開口部 1 5 を囲うように第 1 の結合領域 L 1 を近接配置することが可能となる。開口部 1 5 は、カップ体 4 の着脱の際などに力がかかり易い部分である。したがって、開口部 1 5 に第 1 の結合領域 L 1 を近接配置することで、開口部 1 5 の耐久性を高めることができる。

[0047] また、上半身衣類 1 では、接着部 P のうち、開口部 1 5 における連結方向の一端部 1 5 a に最も近接している接着部 P a 及び他端部 1 5 b に最も近接している接着部 P b が、開口部 1 5 の延在方向に交差する方向に延在した形状を有している。これにより、開口部 1 5 における連結方向の一端部 1 5 a 付近及び他端部 1 5 b 付近での本体部 2 と裏当部 1 3 との結合強度が十分に高められる。開口部 1 5 における連結方向の一端部 1 5 a 及び他端部 1 5 b は、カップ体 4 の着脱の際などに最も力がかかり易い部分である。したがって、開口部 1 5 における連結方向の一端部 1 5 a 付近及び他端部 1 5 b 付近の結合強度を高めることで、開口部 1 5 の耐久性を一層高めることができる。

[第 2 実施形態]

[0048] 図 6 は、第 2 実施形態に係る上半身衣類を裏返して示す正面図である。同図に示すように、第 2 実施形態に係る上半身衣類 3 1 は、開口部 3 5 が前中心部分においてカップ体 4 の連結部 1 2 の下縁部 1 2 b よりも下方に位置している点で、上記第 1 実施形態と異なっている。この上半身衣類 3 1 では、第 2 の結合領域 L 2 の上縁部 L 2 a の前中心部分において凹部 4 0 が設けられている。凹部 4 0 の横幅は、第 1 実施形態の凹部 2 0 と同様に、開口部 3

5の左右方向の長さXと一致していてもよく、開口部35の左右方向の長さXよりも僅かに（例えば2mm以下の範囲で）長くなってもよい。

[0049] 開口部35は、バスト部5を裏側から見た場合に、凹部40の位置に配置されている。凹部40の位置に配置された開口部35の左右方向の一端部35aは、凹部20を画成している第2の結合領域L2の上縁部L2aと接するか、若しくは僅かに離間した状態となっている。同様に、凹部40の位置に配置された開口部35の左右方向の他端部35bは、凹部40を画成している第2の結合領域L2の上縁部L2aと接するか、若しくは僅かに離間した状態となっている。凹部20の深さ方向に対する開口部35の上下方向の位置には特に制限はないが、凹部20の深さ方向の中間位置に開口部35の上下方向の中心位置が一致していてもよい。

[0050] このような上半身衣類31においても、第1実施形態と同様の効果を奏し、開口部35からのカップ体4のはみ出しを抑制することで、着用時の肌当たりを良好に保つことができる。また、上半身衣類31では、開口部35が前中心部分においてカップ体4の連結部12の下縁部12bよりも下方に位置しているため、収容ポケットS内のカップ体4における連結部12の下縁部12bが開口部35から露出しない状態となっている。これにより、カップ体4の連結部12の下縁部12bが肌に当たることを防止できる。連結部12の下縁部12bによる段差が肌に当たらなくなることで、着用時の肌当たりを一層良好に保つことができる。また、着用状態のままでもバスト部5の下縁部5b側から開口部35に手を差し入れることで、収容ポケットSからカップ体4を容易に脱抜することが可能となる。

[0051] 第2実施形態においても、開口部35の連結方向の長さXは、カップ体4の連結部12の上下幅Yよりも大きく、かつカップ11の上下幅Zよりも小さくなっていることが好ましい。これにより、収容ポケットSに対するカップ体4の着脱容易性と、収容ポケットS内でのカップ体4の安定性とを好適に両立できる。

[0052] また、第2実施形態においても、接着部Pのうち、第2の結合領域L2の

凹部４０に位置する接着部Ｐの少なくとも一つは、開口部３５の延在方向に交差する方向に延在した形状となっていることが好ましい。すなわち、凹部４０に位置する接着部Ｐのうち、開口部３５の左右方向の一端部３５ａ及び他端部３５ｂに最も近接している接着部Ｐａが、開口部３５の上下方向に直交する方向を長軸とする略楕円形状となっていることが好ましい。これにより、開口部３５における連結方向の一端部３５ａ付近及び他端部３５ｂ付近の結合強度が高められ、開口部３５の耐久性を高めることができる。

〔第３実施形態〕

[0053] 図７は、第３実施形態に係る上半身衣類を裏返して示す正面図である。同図に示すように、第３実施形態に係る上半身衣類４１は、開口部４５が前中心部分においてカップ体４と重なるように位置している点で、上記第１実施形態及び上記第２実施形態と異なっている。この上半身衣類４１では、開口部４５の上下位置は、例えばカップ体４の連結部１２の上下方向の中心位置と一致している。このため、連結部１２の上縁部１２ａ及び下縁部１２ｂのいずれもが、開口部４５から露出しない状態となっている。なお、開口部４５の上下位置は、開口部４５から連結部１２の上縁部１２ａ及び下縁部１２ｂのいずれかが露出しない範囲において、カップ体４の連結部１２の上下方向の中心位置からずれていてもよい。

[0054] このような上半身衣類４１においても、第１実施形態と同様の効果を奏し、開口部４５からのカップ体４のはみ出しを抑制することで、着用時の肌当たりを良好に保つことができる。また、上半身衣類４１では、収容ポケットＳ内のカップ体４における連結部１２の上縁部１２ａ及び下縁部１２ｂが開口部４５から露出しない状態となっている。これにより、カップ体４の連結部１２の上縁部１２ａ及び下縁部１２ｂが肌に当たることを防止できる。連結部１２の上縁部１２ａ及び下縁部１２ｂによる段差が肌に当たらなくなることで、着用時の肌当たりを一層良好に保つことができる。

[0055] 第３実施形態においても、開口部４５の連結方向の長さＸは、カップ体４の連結部１２の上下幅Ｙよりも大きく、かつカップ１１の上下幅Ｚよりも小

さくなっていることが好ましい。これにより、収容ポケットSに対するカップ体4の着脱容易性と、収容ポケットS内でのカップ体4の安定性とを好適に両立できる。

[他の変形例]

[0056] 本発明は、上記実施形態に限られるものではない。例えば上記実施形態では、裏当部13を本体部2に結合することによりバスト部5に収容ポケットSを形成しているが、裏当部13を用いずに本体部2の編み組織によって袋状部分を構成し、バスト部5に収容ポケットSを形成してもよい。この場合、裏当部13や結合領域Lにおける接着部Pが不要となり、構成の簡単化及び製造工程の簡単化が図られる。また、例えば上記実施形態では、本体部2と裏当部13とが接着剤の硬化物である接着部Pによって結合されているが、本体部2と裏当部13との結合方法はこれに限られず、接着シートによる接着、樹脂シートによる溶着、或いは縫着といった他の方法を用いてもよい。

[0057] また、上記実施形態では、上下端が尖った略楕円形状の開口部を例示したが、開口部の形状はこれに限られるものではない。例えば図8(a)に示すように、長方形の開口部15Aであってもよく、図8(b)に示すように、菱形状の開口部15Bであってもよい。また、例えば図8(c)に示すように、長円状の開口部15Cであってもよい。この開口部15Cでは、中央部分が長方形をなし、長手方向の両端部が略半円形状となっている。

[0058] また、上記実施形態では、裏当部13の下縁部13bの中央部分が連結部12の下縁部12bの湾曲形状に応じた湾曲形状をなしているが(図4参照)、裏当部13の下縁部13bがバスト部5の下縁部5bの近傍において当該下縁部5bに沿い、下縁部5bの近傍まで延在した裏当部13の左右の脇側下部13d、13dの下端同士を結ぶように直線状に延在していてもよい。上半身衣類1の首割りにおいて、裏当部13の上縁部13aがバスト部5の上縁部5aよりも上方に張り出した状態となってもよい。

[0059] また、肩ストラップ部3の構成も上記実施形態に限られない。例えば首割

りの端始末であるパイピングと、袖割りの端始末であるパイピングとを結合して肩ストラップ部3を構成してもよい。また、肩ストラップ部3を有しない本体部2の上縁に別のテープ部材を結合して肩ストラップ部3を構成してもよい。肩ストラップ部3の接続先であるバスト部5の上縁部5a及び背部上部6の上縁部6aは、横方向（水平方向）に一直線状としてもよい。肩ストラップ部3は、必ずしも設けなくともよい。上半身衣類1の裾に相当するバスト部5の下縁部5b及び背部上部6の下縁部6bは、湾曲状や波線状であってもよい。また、袖割り及び首割りは、波線状であってもよい。

[0060] 上記実施形態では、上半身衣類としてハーフトップを例示したが、本発明を適用する上半身衣類としては、ハーフトップのほか、キャミソール、タンクトップなどが挙げられる。

符号の説明

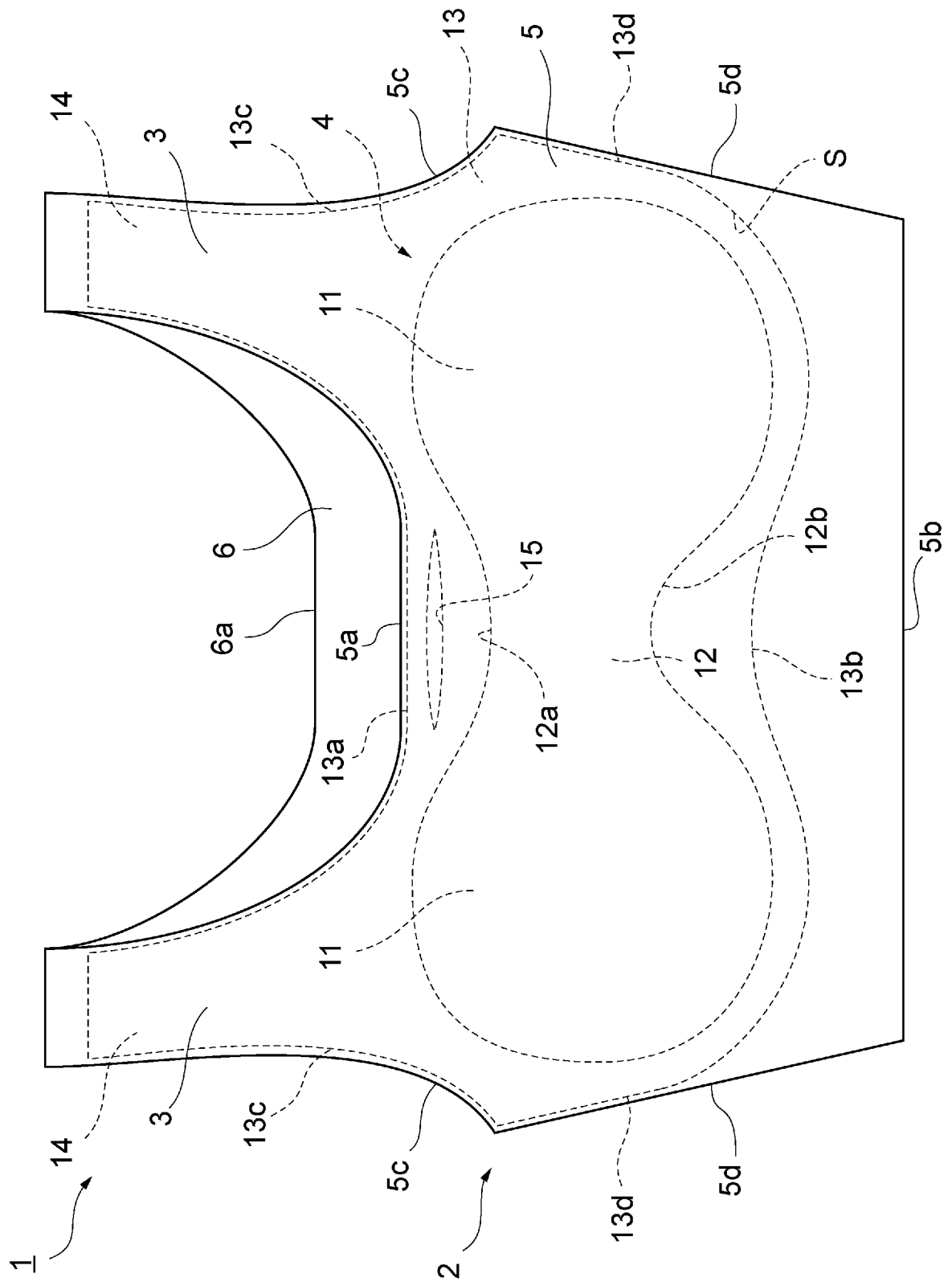
[0061] 1, 31, 41…上半身衣類、2…本体部、4…カップ体、5…バスト部、11…カップ、12…連結部、13…裏当部、15, 15A～15C, 35, 45…開口部、15a, 35a…一端部、15b, 35b…他端部、20, 40…凹部、L（L1～L3）…結合領域、P, Pa, Pb…接着部、S…収容ポケット、X…開口部の上下方向の長さ、Y…連結部の上下幅、Z…カップの上下幅。

請求の範囲

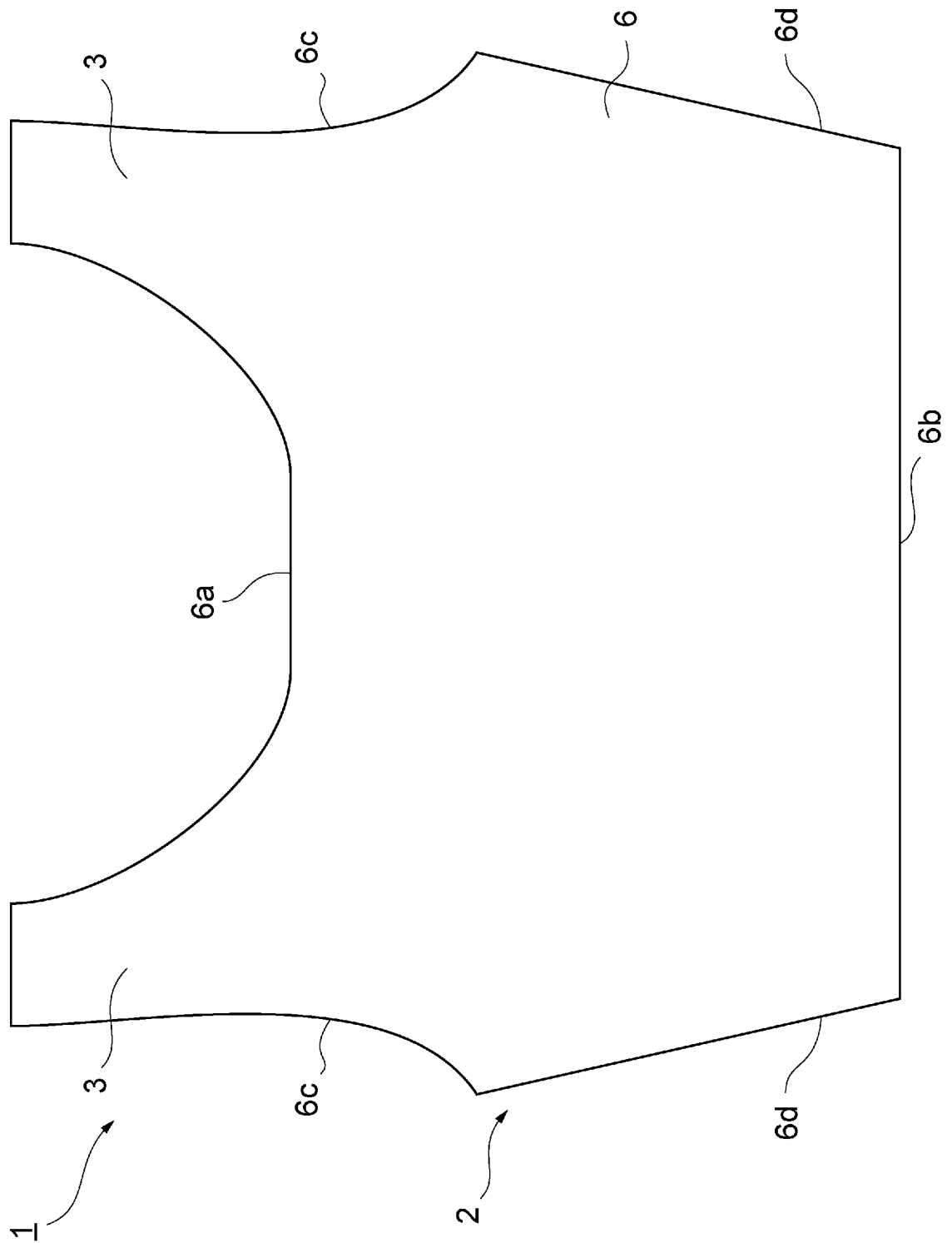
- [請求項1] 着用者の胸周りを覆うように構成されたバスト部を有する本体部と、
- 、
- 左右一対のカップが前中心側の連結部によって連結された一体成型のカップ体と、
- 前記バスト部において前記カップ体を着脱自在に収容する収容ポケットと、を備え、
- 前記収容ポケットにおける前中心部分の裏側には、前記左右一対のカップの連結方向に延びる開口部が設けられている、上半身衣類。
- [請求項2] 前記開口部は、前記カップ体の前記連結部の縁部と重ならない位置に設けられている、請求項1記載の上半身衣類。
- [請求項3] 前記開口部の前記連結方向の長さは、前記カップ体の前記連結部の上下幅よりも大きく、かつ前記カップの上下幅よりも小さくなっている、請求項1又は2記載の上半身衣類。
- [請求項4] 前記開口部は、前記前中心部分において前記カップ体の前記連結部の上縁部よりも上方に位置している、請求項1～3のいずれか一項記載の上半身衣類。
- [請求項5] 前記開口部は、前記前中心部分において前記カップ体の前記連結部の下縁部よりも下方に位置している、請求項1～3のいずれか一項記載の上半身衣類。
- [請求項6] 前記収容ポケットは、前記バスト部において前記本体部の裏側に裏当部を結合することによって形成されており、
- 前記本体部と前記裏当部との結合領域には、接着部が点在している請求項1～5のいずれか一項記載の上半身衣類。
- [請求項7] 前記本体部と前記裏当部との結合領域の縁には、前記前中心部分において凹部が設けられており、
- 前記開口部は、前記凹部の位置に設けられている、請求項6記載の上半身衣類。

- [請求項8] 前記接着部のうち、前記開口部における前記連結方向の端部に最も近接している接着部は、前記開口部の延在方向に交差する方向に延在した形状を有している、請求項6又は7記載の上半身衣類。
- [請求項9] 前記開口部は、前記前中心部分において前記カップ体の連結部に重なるように位置している、請求項1～3のいずれか一項記載の上半身衣類。

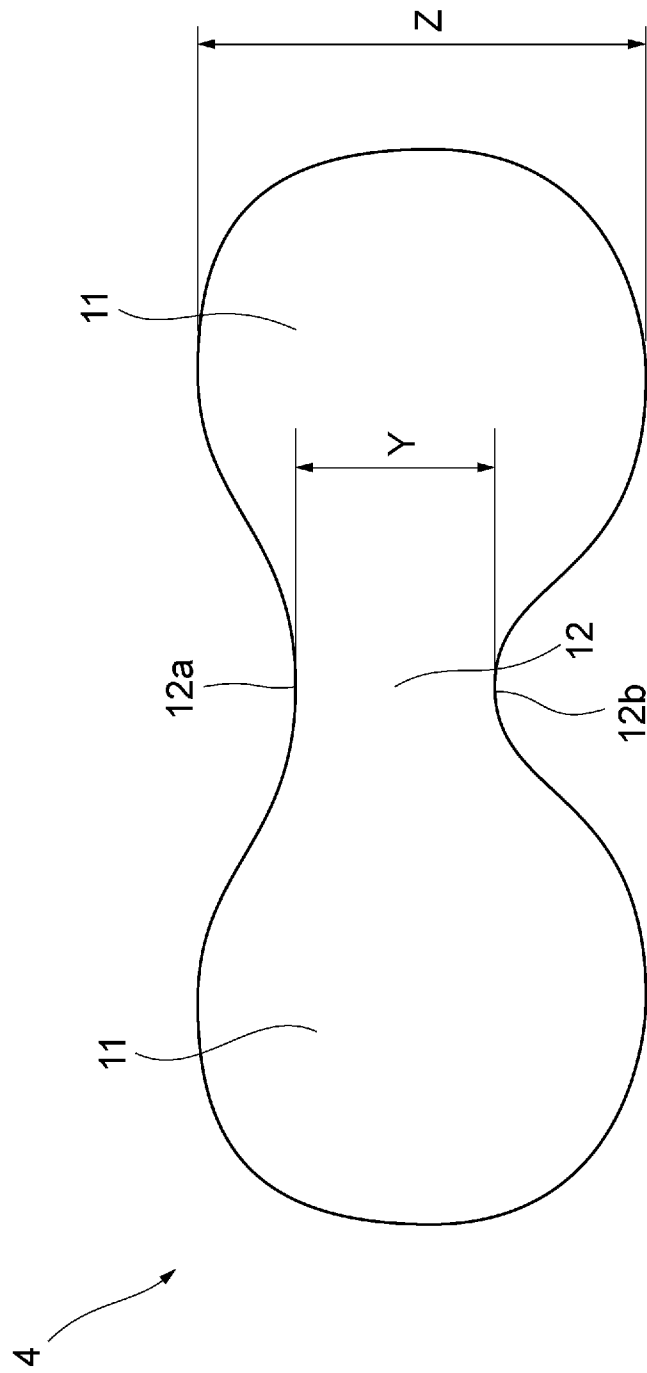
[図1]



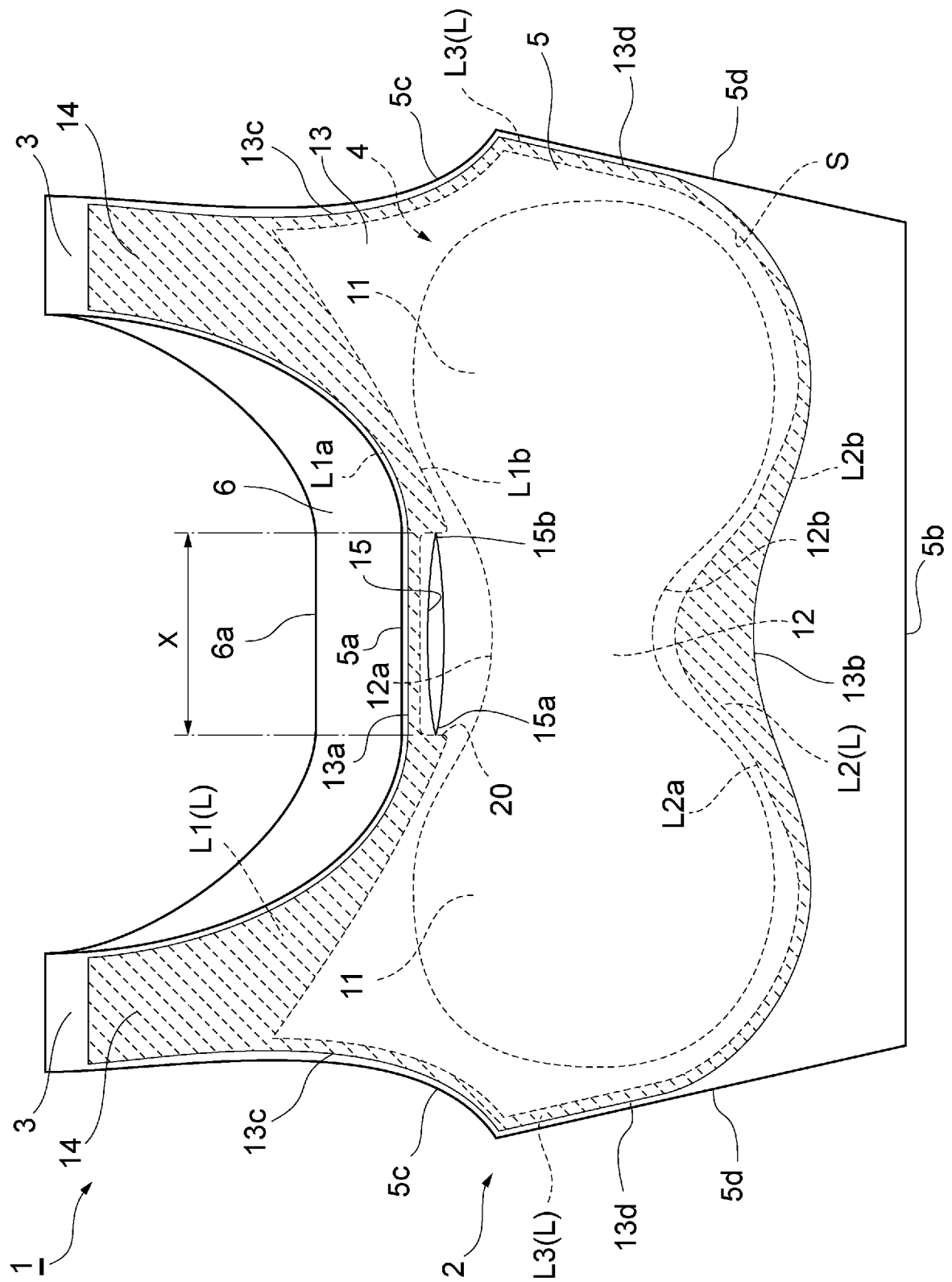
[図2]



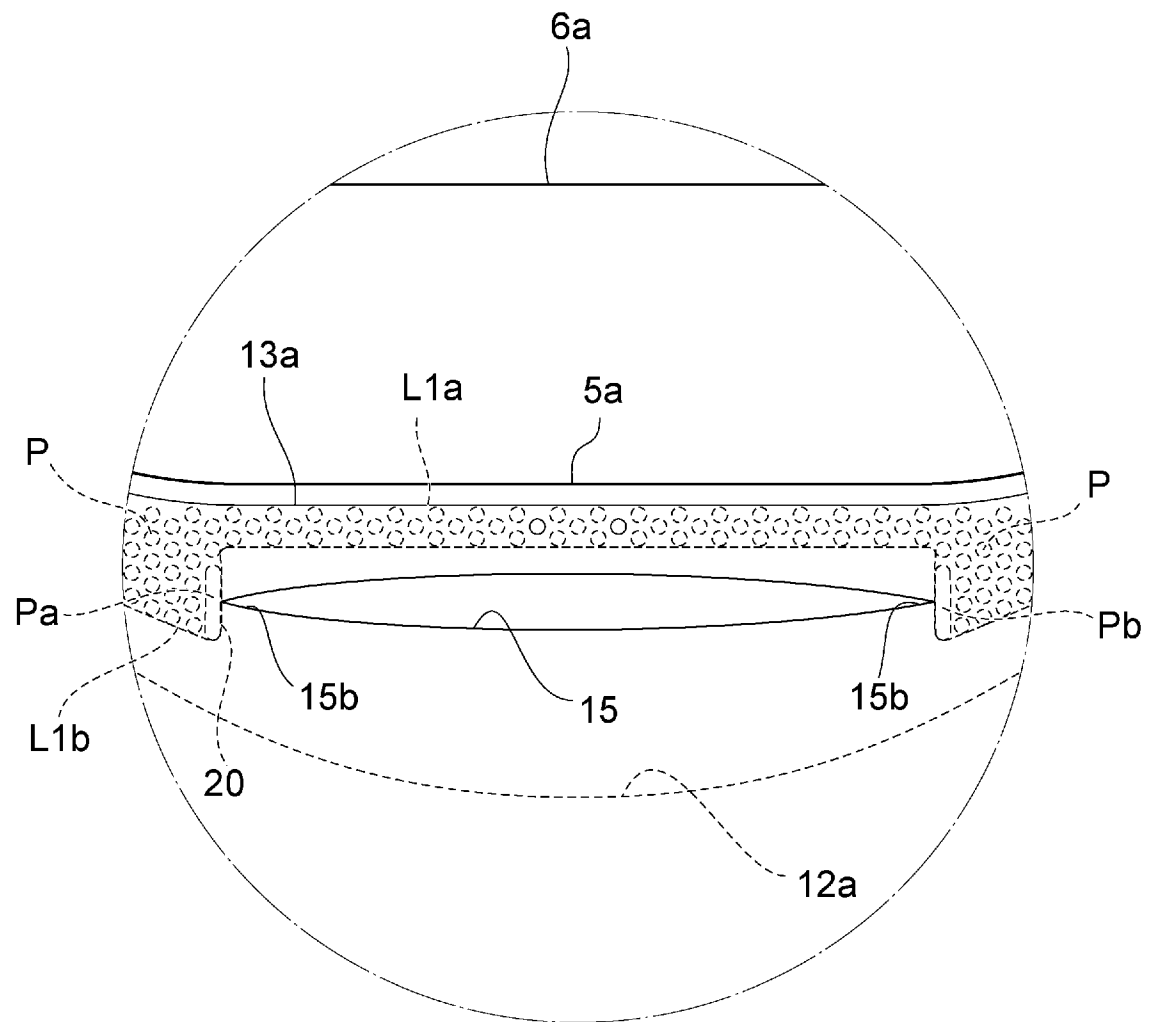
[図3]



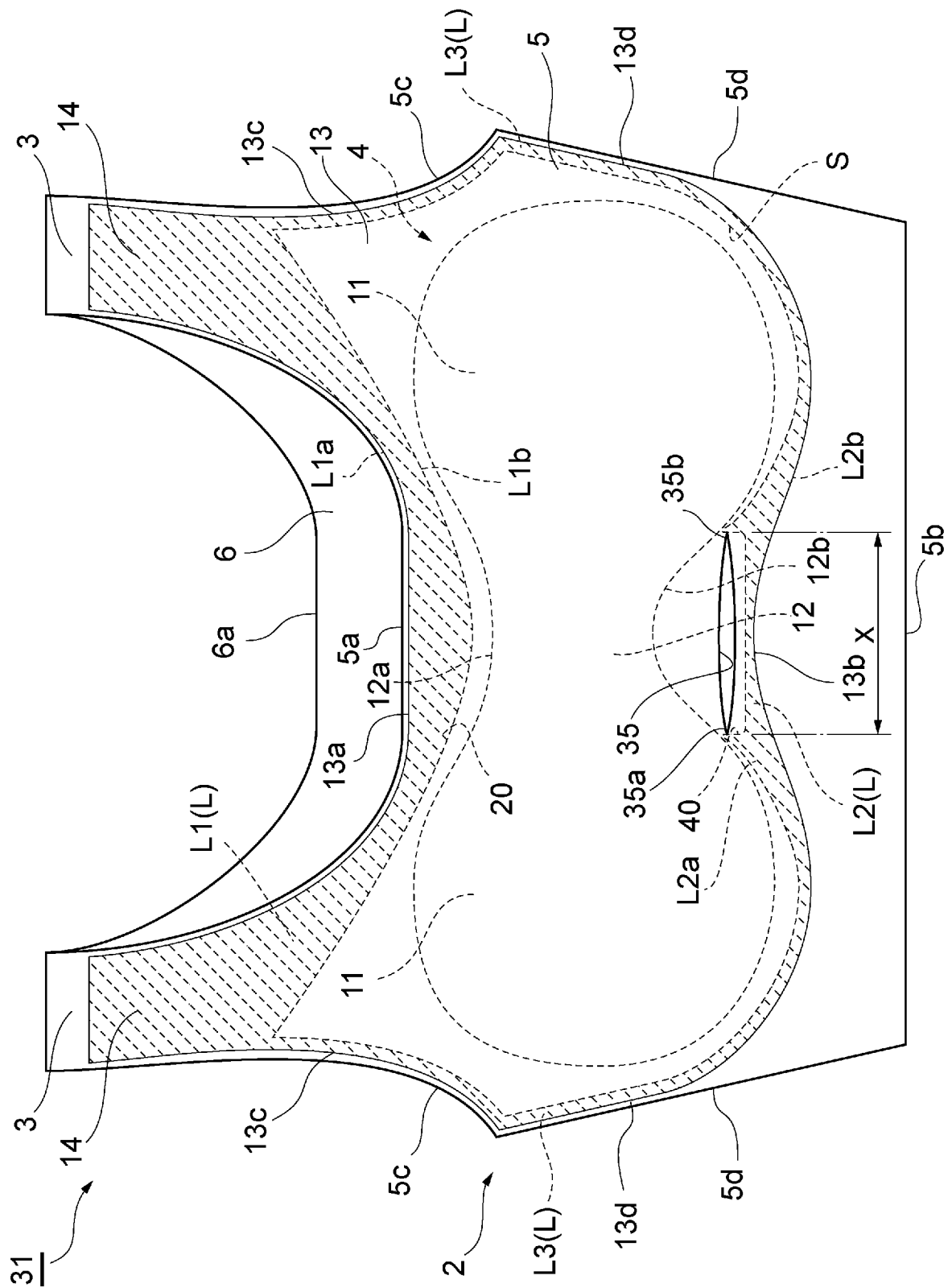
[図4]



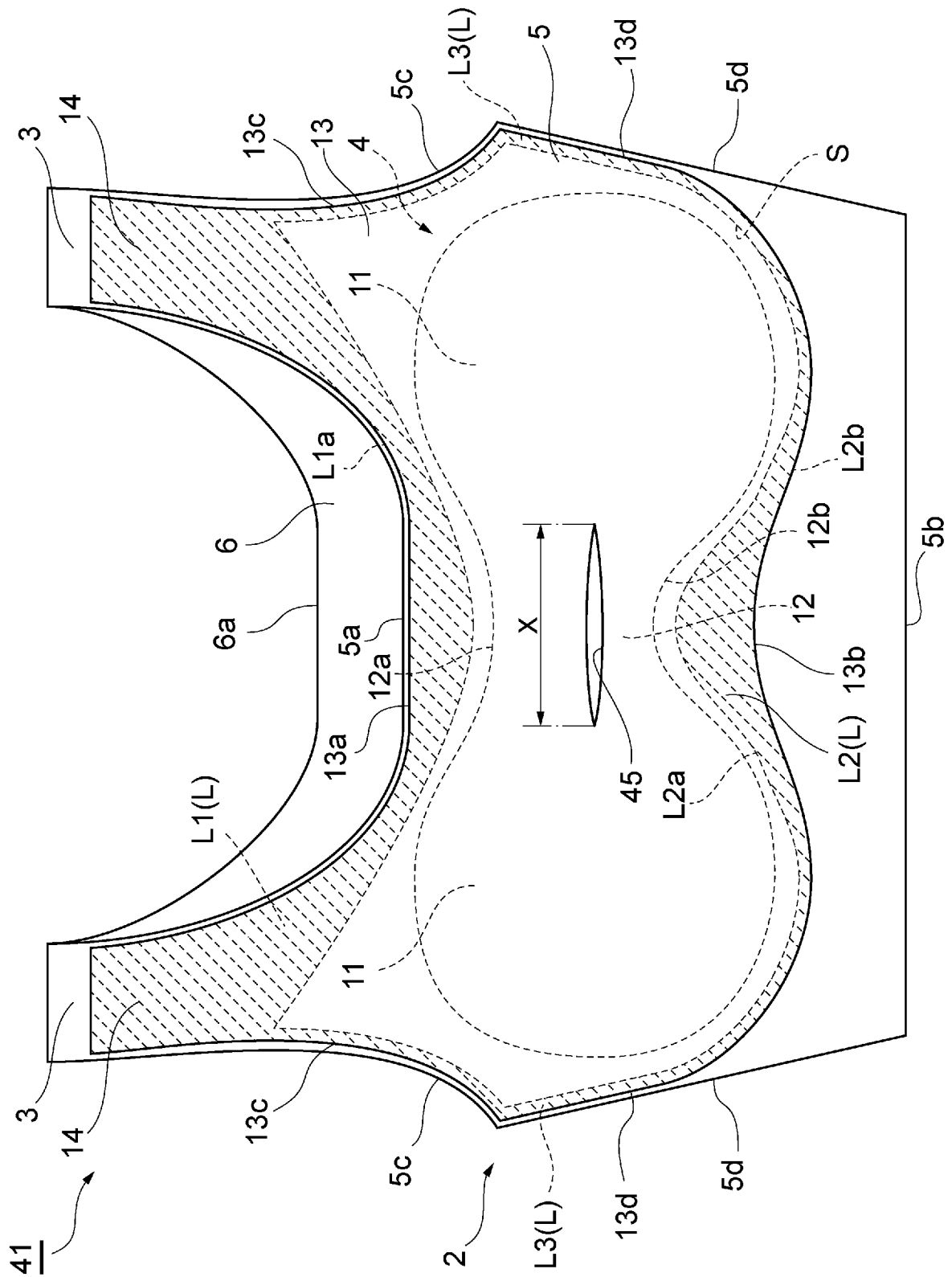
[図5]



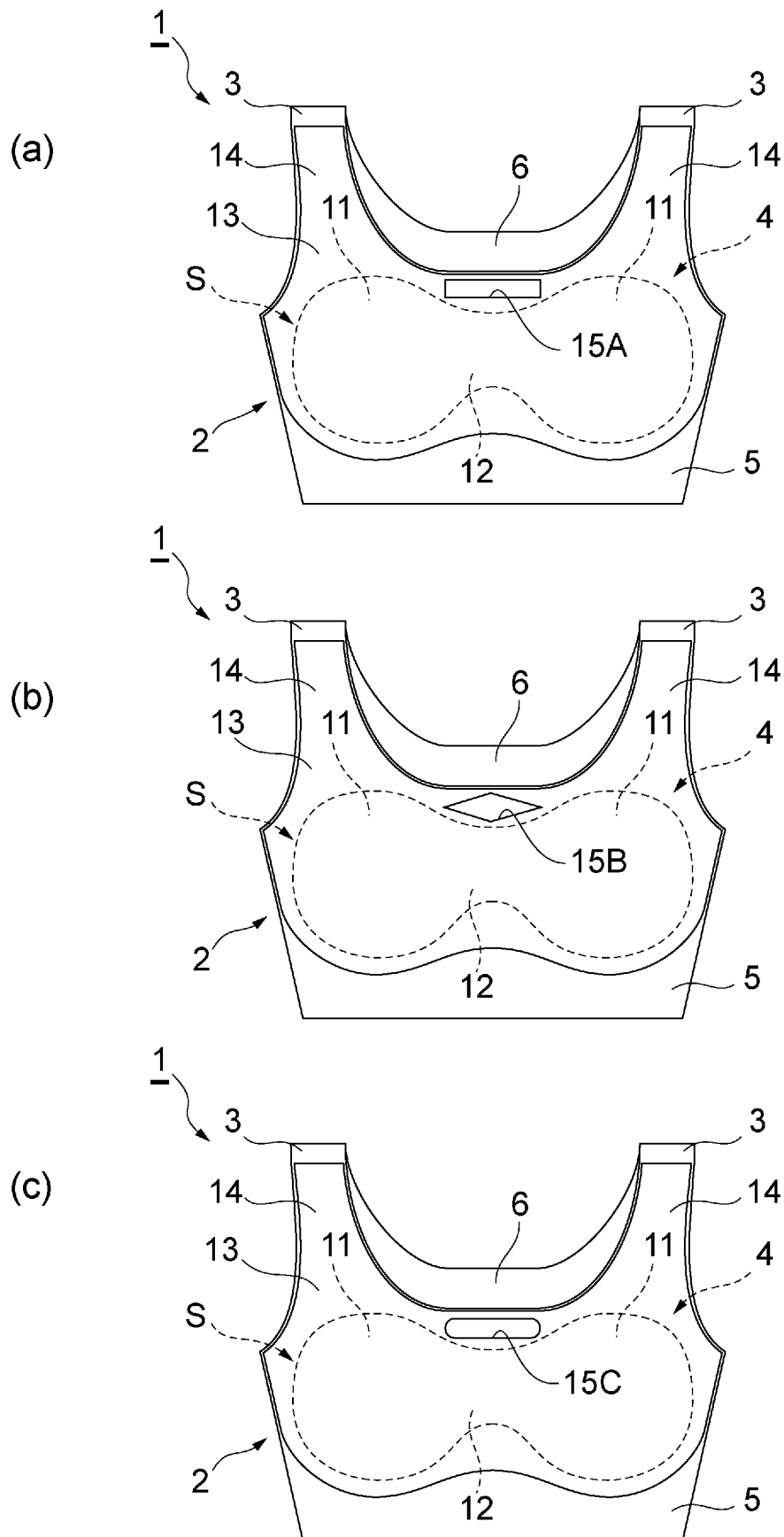
[図6]



[図7]



[図8]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2018/015446

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int. Cl. A41C3/10 (2006.01) i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int. Cl. A41C3/10

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Published examined utility model applications of Japan 1922-1996

Published unexamined utility model applications of Japan 1971-2018

Registered utility model specifications of Japan 1996-2018

Published registered utility model applications of Japan 1994-2018

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X Y A	WO 2017/191806 A1 (WACOAL CORP.) 09 November 2017, paragraphs [0014]-[0038], fig. 1-7 & JP 2017-201065 A	1, 4-6, 8-9 1-3, 5-6 7
X Y	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 180274/1986 (Laid-open No. 085606/1988) (SAKAMOTO KK) 04 June 1988, description, page 5, lines 6-20, fig. 1-3 (Family: none)	1-4 1-3, 5-6
Y	JP 2005-307390 A (COGIT KK) 04 November 2005, paragraphs [0017]-[0022], fig. 1-3 (Family: none)	1-3, 5-6



Further documents are listed in the continuation of Box C.



See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
31.05.2018

Date of mailing of the international search report
12.06.2018

Name and mailing address of the ISA/
Japan Patent Office
3-4-3, Kasumigaseki, Chiyoda-ku,
Tokyo 100-8915, Japan

Authorized officer

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2018/015446

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 3111510 U (LECIEN CORPRATION) 28 July 2005, paragraphs [0012]-[0018], fig. 1-5 (Family: none)	1-9

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int.Cl. A41C3/10(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int.Cl. A41C3/10

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2018年
日本国実用新案登録公報	1996-2018年
日本国登録実用新案公報	1994-2018年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
X Y A	WO 2017/191806 A1 (株式会社ワコール) 2017.11.09, 段落 [0014] - [0038], [図 1] - [図 7] & JP 2017-201065 A	1, 4-6, 8-9 1-3, 5-6 7
X Y	日本国実用新案登録出願61-180274号(日本国実用新案登録出願公開 63-085606号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマ イクロフィルム (株式会社 サカモト) 1988.06.04, 明細書第5ページ第6行-第20行, 第1図-第3図 (ファミリーなし)	1-4 1-3, 5-6

C欄の続きにも文献が列挙されている。

パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

31.05.2018

国際調査報告の発送日

12.06.2018

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/J P)

郵便番号 100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

▲高▼橋 杏子

電話番号 03-3581-1101 内線 3320

3 B

4 4 2 0

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	JP 2005-307390 A (株式会社コジット) 2005.11.04, 段落 [0017] - [0022], [図 1] - [図 3] (ファミリーなし)	1-3, 5-6
A	JP 3111510 U (株式会社ルシアン) 2005.07.28, 段落 [0012] - [0018], [図 1] - [図 5] (ファミリーなし)	1-9